

日本比較文化学会中部支部 第3回研究会

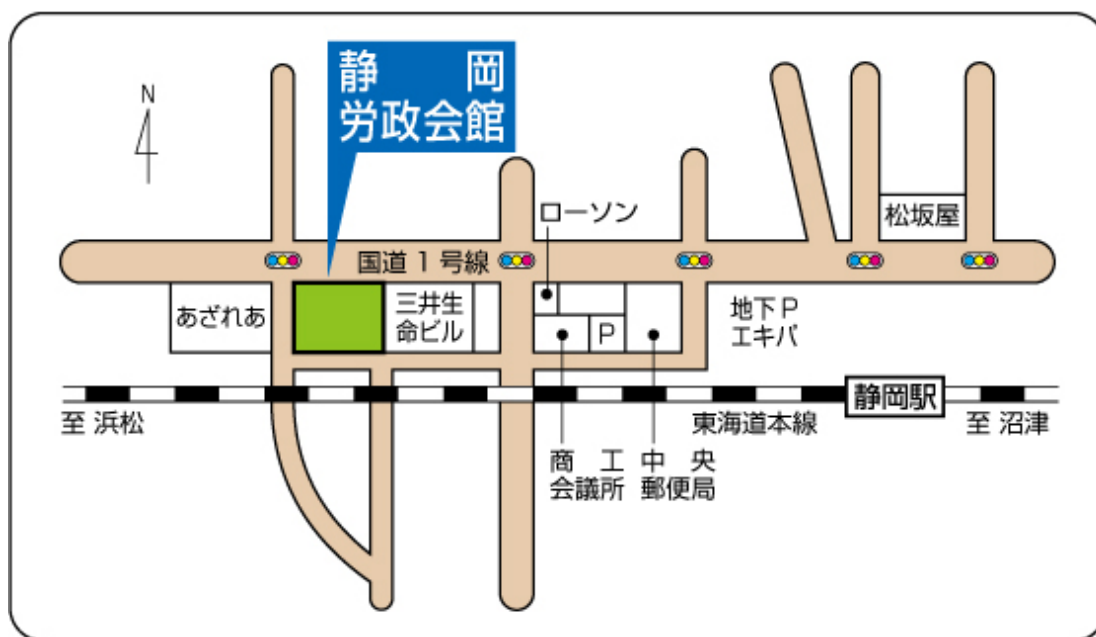
I. 研究会日程 2012年9月22日(土)

II. 研究会スケジュール 14:00~17:00

- 13:30~ 受付
- 14:00~ 開式の挨拶(中部支部長:岡本 武昭先生)
- 14:05~ 研究発表
- 16:55~ 閉式の挨拶(本会名誉会長:太田 敬雄先生)
- 会場:静岡労政会館・第1研修室(5階)
- 参加費:500円
※簡単に飲料とお茶うけを用意いたします

III. 会場までのご案内

静岡労政会館 第1研修室(5階) 〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
JR静岡駅北口近郊 (※静岡駅より徒歩10分)



※ 〈<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-210/sisetu/tizuryoukin.html>〉より転載

研究発表

第1研修室（5階）

9月22日（土）14:00～17:00

（※敬称略）

前半司会：白鳥 絢也（星槎大学）

14:05～14:45

「多文化共生のための教養教育と「ものづくり」－歴史的視座から－」

長谷川 詩織（愛知教育大学）

14:45～15:25

「九鬼周造とその母」

横地 徳広（弘前大学）

休憩（10分）-----

後半司会：安藤 雅之（常葉学園大学）

15:35～16:15

『ボヴァリー夫人』におけるエンマのジェンダー意識
－エンマの「読書」に着目して－

水町 いおり（名古屋市立大学大学院）

16:15～16:55

「南米日系人の子どもを対象とした教材開発に関する研究」

○白鳥 絢也（星槎大学）
津村 公博（浜松学院大学）
澤田 敬人（静岡県立大学）

※発表時間は、研究発表1件につき40分です。（うち発表30分、質疑応答10分）

研究発表要旨

【テーマ：多文化共生と比較文化学】

①長谷川 詩織（愛知教育大学）

「多文化共生のための教養教育と「ものづくり」－歴史的視座から－

今日の高等教育機関で「ものづくり」は、教養科目の一部として注目されることが多い。それを受けて、20世紀初頭の合衆国において、移民の教化、アメリカ系アメリカ人の参画、経済格差に起因する問題解消のために、ものをつくるという行為がどのように議論されたのかを考察する。

②横地 徳広（弘前大学）

「九鬼周造とその母」

九鬼周造『「いき」の構造』と聞いて思い浮かぶのは、一般に江戸文化のことかもしれない。しかし、その著をひもといて読者がすいこむのは、西洋哲学の幾何学的表現で示された、明治から大正の苦界にただよう美の雰囲気である。九鬼と母親の関係に注目して、そうした苦界の倫理的実存に迫りたい。

③水町 いおり（名古屋市立大学大学院）

『ボヴァリー夫人』におけるエンマのジェンダー意識

－エンマの「読書」に着目して－

フランス19世紀の小説家、ギュスターヴ・フロベール著『ボヴァリー夫人』を取り上げ、とくに主人公エンマの「読書」に着目しながら、「読書」がエンマの親密圏におけるジェンダー意識にいかなる影響を与えたのかを明らかにする。

④○白鳥 絢也（星槎大学）・津村 公博（浜松学院大学）・澤田 敬人（静岡県立大学）

「南米日系人の子どもを対象とした教材開発に関する研究」

ブラジル本国で使用されている「教科書」の内容を分析し、わが国における南米日系人の子ども及び日本人の子どもが共に学ぶことのできる「教材モデル」に成り得るか検討する。